



# 最初の授業

## 日本文化との出会い

このレスンプランは、大人数の生徒(300名以下)を対象にした入門者向けのものです。日本文化と日本語コースの受講を考えている生徒に適用できるよう考案してある。その意味では1回限りのレスンプランともいえるが、後々の授業やグループ学習にも利用できるよう構成してある。



メアリー・グレース・  
ブラウニング

**Mary Grace  
Browning**

カウンティ中ノ高校  
(英国、サフォーク州)

### 目的

#### 言語面の目的

学習言語での指示表現に対応できるようになる。  
未習のテーマや語彙を調べることができるようになる。  
文脈から答えを見つけることができるようになる。

学習する機能	学習する表現	学習する語彙
<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ あいさつする</li> <li>❖ 礼を言う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ おはようございます、こんにちは</li> <li>❖ ありがとうございます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ おはようございます</li> <li>❖ こんにちは</li> <li>❖ ありがとうございます</li> </ul>

#### 文化面の目的

日本と日本文化について楽しみながら学ぶ。  
日本文化・日本語学習に対して興味をもつ。

## LESSON PLAN

### 用意するもの

日本の文化に関係のある物品や写真  
 生徒2人に1枚のワークシート  
 (生徒の人数が少ない場合は、1人1枚ずつ配布)  
 大人数の生徒に歌詞を見せられるような、  
 大きな黒板(白板)またはその代用品  
 小さな賞品を数点  
 テープレコーダーまたはCDプレーヤー  
 (後半の補足タスクの内容によって用意)

### 授業の進め方

#### 準備

生徒が自由に動き、必要な時は座っても問題ないような広い場所を確保する。

テーブル(最初は壁側に寄せておくと、あとで教室の真ん中に移動できるもの)

物品/写真

出席している生徒数(例えば300)をざっと数え、余分に10人分を考えておく。出席者数を4で割り(310なら77)、ワークシートにその数(77項目)の説明を書き込む。ふるしき、さかずき、はし、ゆかた、げた、日本語の新聞などの物品を用意する。富士山や東京、相撲など、本に載っている写真も利用する(写真のある頁は輪ゴムで留めたり、透明ホルダーに挟むなどして、授業中、写真がちゃんと生徒に見えるようにする。山の字を書いた漢字シートや折り紙などを、特別に用意しておく)。それぞれの物品に番号をつけ、ワークシートの記述の番号と対応するようにしておく。番号がついた物品をテーブルの上に番号順に置いておく。

ワークシート

例:

- ◆ 東京の地図: 東京は日本の首都である
- ◆ 折り鶴: 鶴は祝いの象徴である
- ◆ ふるしき: 日本人は贈り物を包むためにこの布を使う
- ◆ げた: この木靴は「げた」という

説明はすべて正しく記述しておく。2人に1枚配れるように必要枚数をコピーしておく。番号ができるだけ紙の左端にくるようコピーする。

#### 授業の前提

少なくとも、ペアを組む生徒のうち1人は、ワークシートの記述がきちんと読める年齢、つまり13歳以上になること。

#### 1. 導入(5分)

生徒が教室に入ってきたら、床に座らせる。生徒の

入室中に男女それぞれ1人を選び、教師といっしょに前に立たせる。もしステージがなければ、椅子やテーブルを用意し、その上に2人を立たせ、全員に見えるようにする。

全員が腰を下ろし静かになったら、「きりつ(起立)」と言い、立つように身ぶりで合図する(このように、教師が話している日本語の内容が身ぶりで分かるようにする)。「れい(礼)」と言い、お辞儀をさせる。「ちゃくせき(着席)」と言って、座るように合図する。生徒がおしゃべりを始めるひまを与えないように授業を進め、時間を見はからって「おはようございます」または「こんにちは」を復唱させる。何回か練習させてから、お辞儀の段階であいさつの表現を入れて、「きりつ、れい、ちゃくせき」をもう一度繰り返させる。日本語で、よくできたことをほめてから、今したことが日本の授業の始め方であることを英語で説明する。

#### 2. ワークシート(25分)

生徒を2人1組にして、1組に1枚ずつワークシートを配る。壁側のテーブルを動かして、立ち上がって教室の中央に集まるように言う。配ったワークシートにはテーブルの上にある物品の説明が書いてあるが、その物品をチェックして、説明が正しいかどうか判断するように生徒に指示する。もし説明が正しいと思えば何もなくていいが、間違った説明だと思った場合には、シートの左端の番号のところを破るように言う。

どんな順番でテーブルの上の物品を調べてもいいので、空いているところに行くように指示する。また必要なら、物品に触れて中を見たりしてもいいが、それぞれの番号はとらないように、またあちこち持ち歩かないようにと注意する。生徒はテーブルのどちら側からでも物品を見ることができる。授業時間や生徒数によっては、すべての番号の物品を確認できる組もあるかもしれないが、これまでの経験では、20分で20点から60点ぐらいがいいところだろう。生徒がテーブルの物品を見ている間、教師はやり方が分からない生徒がいれば助け船を出すようにする。生徒はすべての説明が正しいとは思わずに、間違った記述はどれだろうと探すはずだ。いくつかの説明は正しいと分かるが、生徒たちにとってなかなか信じられないものもある。例えば、大型古墳の写真の説明「日本の墓には、ピラミッドよりも大きいものがある」とか、オースチン車の写真(あるいは小型模型)の説明「日本で初めて製造された車はイギリス仕様のものであった」、ハンカチの説明「日本では人前で鼻をかむのは失礼なことだが、鼻をすするのは問題ない」などだ。

## 3. 答えの提示 (3分)

制限時間を決めておいて、終了したら生徒たちを教室の真ん中に集める。テーブルは端に寄せ、生徒を授業の始めに座っていた場所に立たせる。そして、ワークシートを10カ所破いた(10カ所間違いがあるとした)ペアには座るように言い、9カ所、8カ所、と順に聞いていく。1カ所も破かなかった(全部正解とした)ペアはまずいないだろうから、4カ所ぐらいから入賞者を決めていく(場合によっては何か賞品を贈呈する)。

## 4. 説明 (2分)

すべての説明は正しいものであり、そのシートが日本と日本文化に関する最初の説明書なので、ファイルの最初に入れておくように命じる。また、テーブルの上の物品はこれからの日本語のコースでもう一度見ることができるとしておく。特に日本語で書かれているもの(新聞や子どもの本など)を示し、後の日本語コースでの学習でそれらがどのぐらい読めるようになるか、簡単に説明しておく。

## 5. 踊り、歌、じゃんけん (各10分)

最後の活動として、次のものの中から1つか2つ(授業時間によって決定)選んで行う。

◆ 踊り

◆ 歌

◆ じゃんけんコンテスト(一番やりやすい)

踊り：

炭坑節の一節を生徒に聞かせ、どんな歌だと思うか、民謡なら、どんな種類のものか、尋ねる。ほとんどの生徒は仕事に関した歌だろうとは分かっても、米をつくる農民か漁師の歌だろうと考えるので、「炭鉱」の歌であることを言うておく必要があるかもしれない。それから、坑夫はどんな動作をするか考えさせ、実際に生徒を何人か前に出して(前の机などの上で)自分の考える動作を皆の前で実演させる。そのうちから4つぐらいの動作を選んで、順番にアレンジする(例えば、石炭を掘る、石炭をトロッコに載せる、トロッコを押す、上に引っぱり上げる、など)。再度音楽を流し、それらの動作をつけてみる。クラス全員で大きな輪を作り、真ん中にお手本となる生徒を4、5人立たせ、時計の反対回りに動くように指示する。

音楽を流し、全員で踊る。真ん中を向いて、「さのよよい」のところで手をたたく。クラスの反応がよければ、反対向きの動きも加える。

歌：

日本の歌なら何でもいいが、例えば「かえるのうた」がやりやすい。歌詞を見せ、「グアグア」と鳴くのはどんな動物か、尋ねる(後の授業では、日本語でこの質問をすることもできる。動物の大きいフラッシュカードがあれば、他の動物についても話し合える。あるいは、ここで中断して、鳴き声をフランス語やドイツ語など既習の外国語と比較してみてもいい)。歌詞とメロディーを教え、全員歌えるようになったら、円形になって、ふりをつけて歌ってみる。

じゃんけんコンテスト：

1人が「おに(鬼)」になり、残りのクラス全員を相手にする。ごまかしをしないように、「おに」に目隠しをさせて、残りの生徒が手を挙げたあとで「おに」に拳を出すか、後ろ向きに立って全員に見えないように拳を出すよう指示する。生徒全員が立つ。「いち、に、さん」を教え、「さん」で拳を出すように言う。生徒数や時間によって、負けた時は座らせ、勝った者は立たせたままにする。ここでも、何か用意できるなら、勝者にちょっとした賞品を渡す。

## 6. 復習 (5分)

日本語コースを選ぶかどうか、選択用紙の記入の仕方については、教務担当者の説明が必要になるかもしれない。最後に、「おはようございます(こんにちは)」「いち、に、さん」や授業中に出てきたかたかなを復習し、「ありがとうございます」を教える。「きりつ(起立)」「れい(礼)」そして「ありがとうございます」を使って、授業の締めくくりとする。それで解散。

備考

今回使った物品は、後の授業で使用することになるので、日本語クラス用の棚にきちんと保管しておくようにする。日本語担当の教師は全員、それぞれの物品について今回どのような説明文を使ったかを把握しておき、後の授業でその内容を補足するなど活用するようにする。

## 文化理解と外国語学習について

## はじめての授業で必要なこと

今回のような授業は単発ではあるが、その後の日本語コースの内容を整える意味で重要な授業だといえる。生徒は教師が教える学習言語は身ぶりで理解できることがわかるので恐れなくなる。新しい学習言語の体系を理解しなくても、生徒は教師の真似をすることで日常的に使うことばを聞き、使い、覚えることができるのである。うまく物品を選びワークシートの説明を書くようにすれば、これから学ぶ言語にも身近なかたかなが含まれていることがわかり、難しくても、その説明が理解できないものではなく、生徒の興味をそそるようになる。最も大事なことは、文化が、教室の壁に飾った着物姿の少女のかわいい写真のようなものではなく、自分の生活とも直接に関わりのある、西洋と東洋の興味深い融合物だと感じるようになることである。

今回の授業は80パーセントが遊びのようなものだが、そこから生徒は多くのことを学び、それが後の授業の土台になる。生徒は、これから言語だけを学習するのではなく、その国の文化的文脈を学んでいくということを、今回の授業で理解できるはずだ。また彼らはおそらく無意識のうちに自分たちの言語・文化と日本の言語・文化を比較するようになり、そうした比較から出てくる問いが後の授業で生徒たちの関心を生んでいくことになるだろう。

学習が順調に進み、生徒がこの教科に興味をもち続けてくれれば、それは素晴らしいことであり、日本文化が生徒の関心を大いにかき立てるものであるということは、日本語の教師として幸せなことである。

## 講評

この授業のための物品集めは、なかなか大変だ。日本に住んだり、旅行したことがある教師ならば、簡単だろうが、日本での経験が乏しい場合は困難であろう。しかし、だからといってあきらめることはなく、地元の図書館で写真などを探したり、インターネットで調べ、近所のアジア食材店に行ってみることから始めてみても十分だろう。

またじゃんけんは生徒に全くなじみのないものではないので楽しめるだろう。ただ、すべて英語で指示しなくとも、「じゃんけんぽん」「あいこでしょ」は難しくないので教えてもよいだろう。じゃんけんを使って楽しめるゲームの一つを紹介しよう。ペアでじゃんけんをさせて、負けた人は勝った人の後ろにつく。そして他のペアの先頭の人とまたじゃんけんをして、負けたペアは勝ったペアの後ろにつく。これで4人になる。これを5人、20人、50人と、長い蛇のようになるまで続ける。そして最後にじゃんけんの勝者を先頭にした長い蛇が一つできあがる。

また、この授業活動は初級の語学クラスに限定する必要はなく、上級のクラスでも、使う物品を変えれば使える。さらにこのレッスンプランは社会研究のコースに適したもので、他の文化学習のクラスでも応用できる。多くの教師が、この独創的な教案を活用し、楽しい創造的な授業を行ってほしい。

## ワークシート

1. わりばし	この木片はおはしとして使われている
2. はしおき	これはテーブルセッティングのときに使うものである
3. ひやくにんいっしゅ	これは伝統的なお正月のゲームである
4. まっちゃ	この緑色の粉は薬ではない
5. はっぴ	このコートはお祭りのときに着る
6. 米	これは日本人の主食である
7. したじき	小学生はみんなもっている
8. 小学校4年の算数の教科書	これは10歳の子が使う教科書である
9. 日本地図	札幌は北海道の都市である
10. 北斎の富士山の絵	これは日本で一番高い山である
11. 日本の硬貨か紙幣	日本のお金は「円」である
12. 日本が中心にある世界地図	日本は英国と同じ東半球にある
13. かさ	日本の梅雨は6月に始まる
14. 日本の皇室の写真	日本の皇室は世界で最も古い歴史をもっている
15. その年の干支	今年は _____ 年である (例: 馬)
16. 書道作品	この漢字は _____ を意味している (適当なもの)
17. 日本の缶飲料	日本人にとってリサイクルは大切である
18. のれん	これは空間を仕切るためのものである
19. ふろしき	ヨーロッパの人びとはスカーフのようにして使うが、日本人はそうしない
20. 茶碗	これは茶碗である
21. げた	これは「げた」とよばれる
22. 東京の地図	東京は日本の首都である
23. 折り紙でつくった鶴	鶴は祝い事の象徴である
24. 古墳	日本のお墓にはピラミッドよりも大きいものがある
25. オースチン車の写真	日本で初めてつくられた車はイギリス仕様のものだった
26. ハンカチ	人前で鼻をかむのは失礼だが、鼻をすするのは失礼ではない

このどうぶつはなんてなく？

動物名	日本語	中国語	英語
いぬ (dog)	ワンワン	wang wang	bow wow
ねこ (cat)	ニャーニャー	miao miao	meow meow
うし (cow)	モォー	mou mou	moo moo
うま (horse)	ヒヒヒーン	huir huir	neigh neigh
ぶた (pig)	ブーブー	du du	oink oink
やぎ (goat)	メェー	mie mie	nah nah
あひる (duck)	ガーガー	gua gua, ge ge	quack quack, ga-ga
かえる (frog)	ケロケロ	gua gua	cluck cluck
にわとり (chicken)	コケコッコ	wo wo	cockadoodle doo

かえるのうた

かえるのうた

♪ = 76 [1] [2]

かえるのうたがきこえてくるよ

[3] [4]

クワ クワ クワ クワ ケケケケケケケ クワ クワ クワ

JASRAC出 9809755-801